

議 長 これより監査委員の審査報告を求めます。代表監査委員 鍵和田毅志君。
代表監査委員 鍵和田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、3ページをお開きください。3ページに監査報告書、文書にして提出してございます。それを読み上げて報告に代えさせていただきます。

松監第1号、令和3年7月30日、松田町長 本山博幸殿。松田町代表監査委員 鍵和田毅志。松田町監査委員 大館秀孝。

令和2年度松田町一般会計、特別会計歳入歳出決算及び上水道事業会計決算並びに基金運用状況審査報告書の提出について。地方自治法第233条第2項並びに地方公営企業法第30条第2項の規定による審査に付された、令和2年度松田町一般会計及び特別会計歳入歳出決算書並びに上水道事業会計決算書、その他の関係証書類について審査し、また、地方自治法第241条第5項の規定により基金運用状況を審査したので、その意見を次のとおり提出します。

令和2年度松田町一般会計、特別会計歳入歳出決算及び上水道事業会計決算並びに基金運用状況審査意見。

審査の対象。1、一般会計。令和2年度松田町一般会計歳入歳出決算。2、特別会計です。令和2年度松田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算。以下、会計名のみ読みます。令和2年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計、令和2年度松田町寄簡易水道事業特別会計、令和2年度松田町下水道事業特別会計、令和2年度松田町介護保険事業特別会計、令和2年度松田町用地取得特別会計、令和2年度松田町後期高齢者医療特別会計。3番です。公営企業会計。令和2年度松田町上水道事業会計決算。4でございます。令和2年度松田町一般会計並びに特別会計歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書。5、令和2年度松田町上水道事業会計損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書及び貸借対照表。6、松田町定額資金運用基金運用状況。

審査の期間。令和3年7月12日から20日までの7日間。

審査の基本的態度。町長から提出された令和2年度松田町一般会計及び特別会計歳入歳出決算、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する

調書並びに上水道事業会計決算損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分計算書及び貸借対照表等の審査に当たっては、関係法令の規定に従い、決算計数の正否、出納行為の適法性及び予算執行手続等の適否について、関係諸帳簿及び証書類等を審査するとともに、必要に応じ、関係者の説明を聴取し、併せて例月出納検査時の資料を…次のページでございます。活用し、厳正かつ普遍的な審査を実施した。また、定額資金を運用するための基金の運用状況の審査に当たっては、計数の正確性及び運用の適正かつ効率性について同様に審査を実施した。

審査の結果。1、町長から審査に付された各会計決算書、財産に関する調書及び関係諸帳簿、証書類等を精査したところ、いずれも正確に記帳され、その内容も適正なものと認められた。2、本審査を通じて確認した予算の執行については、一部事務手続に改善を要するものを除き、関係法令に準拠して行われており、適正と認められた。

決算の概要。令和2年度の一般会計ほか特別会計及び企業会計は、予算現額103億2,425万3,000円に対し、決算額は歳入で101億8,001万6,000円、一般会計70億1,377万円、特別会計ほか31億6,624万6,000円。歳出で95億9,293万6,000円、一般会計66億3,179万2,000円、特別会計ほか29億6,114万4,000円となり、歳入歳出差引額5億8,707万9,000円、一般会計3億8,197万9,000円、特別会計ほか2億510万円が翌年度に繰り越されており、健全性は維持されているものと認められた。また、予算の執行状況は、一般会計の執行率94.22%、前年度86.32%、上水道事業会計を除く特別会計が90.67%、前年度90.86%、上水道事業会計では82.43%、前年度72.84%の執行率となっている。執行内容としては、おおむね適正になされているものと認められた。工事等事業執行に当たっては、当初計画、仕様等を十分に踏まえ、最も安価で適正な方法が選択されていた。

3、基金の運用状況を示す書類については、審査の結果、計数は誤りないものと認められ、その運用は所期の目的に沿ってなされており、関連する事務の処理は、全ての重要な点において適正に行われているものと認められた。

4でございます。審査における指摘事項。(1)一般会計の実質収支額に3億7,000万円もの大きな額が出ており、予算単年度主義に鑑みるとかんばしくないため、今後は積極的な事業執行によりこのような大きな額が出ないように努められたい。(2)町税の収納状況は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う徴収猶予の特例制度によるものを除けば順調であることを理解したが、引き続き滞納整理に努められたい。また、特別会計も含めたその他の債権徴収においても、財源確保及び公平性の観点から積極的に取り組まれたい。(3)上水道事業会計をはじめとする3つの公営企業会計については、事業収益や使用料収入が減少しているため、経営状況がこれ以上悪化しないよう、計画的な経営戦略を検討されたい。

以上でございます。御清聴ありがとうございました。

議 長 監査委員からの報告が終わりました。それでは、鍵和田代表監査委員には、これで退席していただきたいと思います。御苦労さまでした。

(代表監査委員 退席)